

講演会「繊維分析機器の最新技術～糸品質, 画像解析, 触覚感性～」

近年のセンサおよびコンピュータ技術の発展によって、人間の五感知性を越えた分析技術が確立され、それらの技術は、糸、布、繊維製品の分野においても大きな革新を示しつつあります。視覚分析は、最近のカメラ画像解析技術の発展により、人間以上に高速、高分解能、広範囲のデータを多変数解析することで複雑な繊維製品の分析を可能にしています。触覚分析は、繊維の触り心地といった曖昧データを数値化し、人間感性に近いレベルが実現化しつつあります。

本講演会では、繊維分析機器の最新技術や参考となる応用事例を、糸品質、画像解析、触覚感性の3つのキーワードで紹介、解説していただきます。USTER社は紡績糸品質測定器、綿花格付機器を扱うメーカーで、『USTER STATISTICS』は60年近い歴史を持つ紡績糸品質の世界基準です。優れた技術開発と独自の品質管理手法により繊維産業で広く認知されています。ボーケン品質評価機構は画像解析によるシワ判定で、画像データ処理手法、統計的手法、ニューラルネットワーク学習等の新しい技術に取り組んでいます。京都大学山本先生は、視覚心理学、脳機能イメージング、fMRI(磁気共鳴画像法)を研究テーマとする視覚科学の専門家です。京都工芸繊維大学佐久間先生は触覚を専門分野とし、質感の「見える化」をめざしています。柔らかさを測る新たな理論を発見し小型センサの開発に成功しました。リコーインダストリーは多視点カメラ映像による生産工程可視化システムに取り組んでいます。

いずれも最新トレンドとなる分析技術であり、日ごろの活動に役立てることができる非常に興味深い講演になると思いますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 平成30年2月27日(火) 10.00~16.30

会 場 大阪科学技術センタービル(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00~11.00

(1) USTER社糸品質分析機器と最新の糸指標について

..... ウスターテクノロジーズ(株)技術サービスグループ グループ長 繁樹 隆

11.10~12.10

(2) 機器測定(画像解析)によるシワの判定

..... (一財)ボーケン品質評価機構 開発部 遠藤 祐里

13.10~14.10

(3) 繊維質感の心理計測と脳計測

..... 京都大学 大学院 人間・環境学研究科助教授 山本 洋紀

14.20~15.20

(4) 質感の見える化(柔らかさを測るセンサ開発)について(仮)

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 佐久間 淳

15.30~16.30

(5) リコーインダストリーに於ける「高品質を実現する見える化」への取り組み

~IoTの製造実践 様々な技術の融合で、新たな未来へ~

..... リコーインダストリー(株)ものづくり統括本部 戦略統括センター 生産事業開発室 峯田 稔

定 員 40名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員15,000円, 協賛団体15,000円, 非会員25,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員3,000円(税別)

申 込 「講演会繊維分析機器の最新技術」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

ナノファイバー研究会（第25回）研究例会

期 日 平成29年12月1日(金)

会 場 見学会：株式会社タカラ（岡山県岡山市北区蕃山町4-5）

講演会：The Style（岡山市北区中山下1-8-45 NTTクレド21階）

内 容 予定

10.30～12.30 見学会

10.30 岡山駅集合（徒歩で移動予定）

11.00～12.30 企業見学：株式会社タカラ（岡山県岡山市北区蕃山町4-5）

13.30～ 講演会受付

14.00～18.00 講演会

14.00～14.50 (1)「木材から製造したセルロースナノファイバーとその用途研究」

..... モリマシナリー(株)セルロース開発室 山本顕弘

15.00～15.50 (2)「不織布の高機能化技術とその応用について」

..... 倉敷繊維加工(株)企画開発部 企画開発グループ 中野正憲

16.00～16.50 (3)「繊維産業で起業する」

..... 岡山大学環境反応工学研究室4年, EVERY DENIM 共同代表 島田舜介

17.00～17.50 (4)「機能的ナノ繊維開発のためのマイクロ湿式紡糸技術」

..... 岡山大学大学院 自然科学研究科 小野 努

18.30～ 交流会（同会場）

定 員 見学会20名、講演会30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 企業見学：講演会参加者は無料

講演会：会員5,000円、非会員10,000円、学生会員無料、学生非会員2,000円（税別）

ナノファイバー研究会無料（研究会法人メンバーは複数名参加可能）

交流会：3,000円（税別）

申 込 「ナノファイバー研究会（第25回）研究例会」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、E-mail アドレス）、④会員種別、⑤交流会参加の有無を記入上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

平成 29 年度「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成 8 年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約 20 年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を見直すことといたしました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座として、平成 29 年度から新たな「テキスタイルカレッジ」が始まります。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2 日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」、「布」、「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既にも実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のための利用など、多くの方に新たに始まる「テキスタイルカレッジ」をご利用いただければ幸いです。各講座の詳細は、今後の会告でご案内させていただきます。

平成 29 年度「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	開催済	1. 「2 日で学ぶせんいと布づくり」(2 日)	
専 門 講 座	開催済 開催済 12/5(火), 6(水)	1. 「天然繊維の糸づくり」(0.5 日)	
		2. 「化学繊維の糸づくり」(1 日)	
		3. 「合成繊維 (実用)」(2 日)	
	布	開催済	1. 「組物」(0.5 日)
		開催済	2. 「織物」(1 日)
		開催済	3. 「編物」(1 日)
		開催済	4. 「不織布」(1 日)
		開催済	5. 「染色加工」(1 日)
		開催済	6. 「染色加工 (実用)」(2 日)
	製 品	2/19(月)	1. 「アパレル製品設計の基本」(1 日)
		11/27(月)	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として」(1 日)
		12/8(金)	3. 「実習：感性評価のための布特性」(1 日)
		1~3 月予定	4. 「資材用繊維製品」(1 日)
		3/2(金)	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1 日)

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」

人の感覚という個人差が大きく漠然とした捉えどころのないもののように思うかもしれませんが、アパレル製品の着心地の良さには、見た目や触れた時の布の風合い・暑さ寒さのような温熱的快適性・動きやすさがかかわっており、これらはそれぞれ視覚や皮膚感覚である触知覚・温覚冷覚・圧覚と対応しています。これらの感覚を主観評価や生理量から捉え、布の材料特性と関連付けることで、着心地を客観的に数値で捉えることが可能です。

テキスタイルカレッジ「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」の講座では、このような繊維製品の感覚性能を評価するための手法の基礎について学びます。

まず着心地の数値化についての基本的な手法、そして人間の「触知覚」や「視覚」による布の風合い評価、アパレル製品の「衛生機能」および「運動機能」の側面からの着心地評価という観点から、その計測・評価方法を、事例を交えて基礎から解説します。

感覚性能は繊維製品だけでなく、生活の中で人が触れて用いられるものすべてに関わる性能です。繊維に関わる勉強をしている学生、アパレル製品に関連する業務を担当されている方々だけでなく、人の感覚や感性といったことに興味をお持ちの方など多くの方々のご参加をお待ちしております。

また、実際に計測してみたいという方は、テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」（12月8日開催）の受講も併せてご検討ください。

期 日 平成 29 年 11 月 27 日(月) 10.00～17.00

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

(1) アパレル製品の「着心地」を数値化するには（10.00～11.30）

..... 信州大学 繊維学部 教授 西松 豊典

アパレル製品の感性品質（心地）を的確に捉えるために、主観および客観評価が必要になってきています。そこで、人間の視覚と触知覚機能、視覚や触知覚で「着心地」を評価するときに用いる官能検査方法、着心地に関連する生地物理特性の計測・評価方法、着心地を評価しているときのヒトの生理的機能量の計測・評価方法、主観評価と客観評価結果との対応付けについて、研究成果を示しながら解説します。

(2) 風合い評価－触覚－（12.30～13.30）

..... 元金沢大学、カトーテック（株）技術顧問 松平 光男

布の風合い（触感）は、明治に入って英国から紳士服が日本に導入されて以来、テーラーや消費者から重要視され、風合いの良いスーツを着ることが消費者の夢であった。川端、丹羽教授らは、風合い判断が微小な荷重レベルでの初期力学特性に基づいていることを見だし、当社と共同で KES システムの設計、開発に成功した。日本繊維機械学会内に風合い計量と規格化研究委員会（略称 HESC）を組織し、基本風合い、総合風合いを定義し、布の風合い客観評価法の開発に成功した。

今回は、その概略を解説します。

(3) 風合い評価－視覚－（13.40～14.40）

..... 信州大学 繊維学部 准教授 金井 博幸

視覚によって評価される布の風合い（視覚的風合い）は、最終テキスタイル製品の付加価値を向上させる要因の一つです。これまで、黒色織物の外観に関する研究については多くの報告がありますが、主観的評価法や物理的特性の計量法の標準化には至っていません。ここでは織物の視覚的風合いを主観的に評価する方法について紹介し、物理的性質との対応について検討した事例を紹介します。

(4) アパレル製品の衛生機能的着心地の評価（14.50～15.50）

..... 京都教育大学 教育学部 准教授 深沢太香子

一日の生活の中で、衣服を身に着けていない時間はどのくらいでしょうか？私達は、入浴時以外は殆どいつも衣服を身に纏っています。ですから、着用する衣服は、安全でかつ心地よいものであることが重要です。ここでは、衣服を気候適応のツールととらえ、衣服の温熱的な心地よさに関わる生理指標とその評価法、そして、心理的評価法について解説します。

(5) スポーツウェアの運動機能的着心地の評価～衣服圧計測からのアプローチ～ (16.00～17.00)

…………… (株)アシックス スポーツ工学研究所 アパレル機能研究部 部長 田川 武弘
 運動機能的着心地には、動きやすさや締め付け感が大きく影響します。動きやすさを阻害しない、また快適な締め付け感を、どのように測定し評価を行うかについて衣服圧計測からのアプローチを紹介し、併せて、それらの手法がスポーツウェア開発にどのように活かされているかの具体的な事例も紹介します。

協賛 大阪染色協会

定員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

申込 テキスタイルカレッジ繊維製品の感覚性能と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込ができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

共催 2018 学術ミキサー

新年を迎えるにあたり、「2018 学術ミキサー」を大阪にて開催いたします。繊維関連の3学会共催による開催も4年目となりました。

平素よりご支援、ご指導を頂いております大学、研究機関、企業ならびに関連団体の方々との間で情報交換をしていただき、繊維関連の学術、産業について今後を展望したいと存じます。3学会によるスマートテキスタイル研究会も発足し活動するなど今後とも3学会の連携を強めて行ければと願っております。

各学会の維持会員・賛助会員はじめ大学・企業・団体会員の方々におかれましては、3学会の会員同士の連携や情報交換の貴重な機会です。多数の方々のご参加をお待ちしております。

日時 平成30年1月24日(水) 14.00～18.00

会場 大阪市中央公会堂 3階・小集会室 (大阪市北区中之島1丁目1番27号)
 大阪市営地下鉄 御堂筋線 淀屋橋1番出口5分 堺筋線北浜19番出口3分
 京阪電鉄本線 淀屋橋1番出口5分 中之島線 なにわ橋1番出口1分

内容 詳細は決まり次第学会 HP 並びに12月号にてお知らせ致します。

共催 (一社) 繊維学会, (一社) 日本繊維機械学会, (一社) 日本繊維製品消費科学会

参加費 3,000円

定員 70名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

申込 参加をご希望の方は、学会ホームページの申込フォームよりお申し込みください。

学会 HP : <http://www.shohikagaku.com>

問合せ先 (一社) 日本繊維製品消費科学会

〒530-0042 大阪市北区天満橋2-2-7-403 アルカディーナ天満橋リバーサイド
 TEL : 06-6358-1441, FAX : 06-6358-1442, E-mail : shohikagaku@nifty.com

テキスタイルカレッジ

合成繊維（実用）

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、染色加工および特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにしています。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 平成 29 年 12 月 5 日（火）、6 日（水）

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

内 容 予定

1 日目【12 月 5 日（火）】

- (1) 化合繊維概論（10.00～12.00）…………… 山崎技術士事務所 代表、京都工芸繊維大学 非常勤講師 山崎 義一
— 種々の化学繊維の概要を説明し、その技術史ならびに産業論を含めて解説します —
- (2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質（13.00～15.00）
…………… 名古屋大学 名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次
— 3 大合繊とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します —
- (3) 合成繊維の繊維化プロセス、構造と物性の関係（15.15～17.15）
…………… 龍谷大学 REC、P&P リサーチ代表、日本繊維機械学会フェロー 石原 英昭
— 紡糸工学の概要を説明し、特に熔融紡糸、乾式紡糸などの実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性などに関連づけて解説します —

2 日目【12 月 6 日（水）】

- (4) 合成繊維の高次加工—糸加工、製布（10.00～12.00）
…………… 元東レ、日本繊維技術士センター 執行役員 木村 俊彦
— 合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について説明します —
- (5) 合成繊維の高次加工—染色加工（13.00～15.00）…………… 元帝人、京都工芸繊維大学 非常勤講師 嶋田幸二郎
— 合成繊維の染色技術および染色加工工程での高付加価値加工や、機能性付与技術について、原糸開発との関連においてその基礎知識と最近の技術動向をサンプルとともに解説します —
- (6) スーパー繊維とその用途展開（15.15～17.15）
…………… 東洋紡(株) 総合研究所 コーポレート研究所 部長 寺本 喜彦
— 近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します —

協 賛 大阪染色協会、日本化学繊維協会

定 員 30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 会員 25,000 円、協賛学協会員 25,000 円、非会員 33,000 円、学生会員 5,000 円、学生非会員 7,000 円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ合成繊維（実用）」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込ができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

実習：感性評価のための布特性

着心地を始めとする感性評価についての概説、布の触感に関わる風合いの客観評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-FB1～4 (auto system ではありません) を用いて布の力学的特性 (引張, せん断, 曲げ, 圧縮特性) と表面特性を、KES-F7 サーモラボを用いて熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} , 熱コンダクタンス, 熱損失) を測定します。

布の物理特性について学びたい、KES を所持しているので測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布, 皮革類, 紙, フィルム, その他硬い材料など) に応用したい, さまざまな条件設定について知りたいなど, これまでの事例を踏まえ, 触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感性評価に興味をお持ちの方を対象に, 布の触感の客観評価の実際を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 12 月 8 日 (金)

会 場 神戸大学国際人間科学部 鶴甲第 2 キャンパス (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後, 各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大人間発達環境学研究科前 下車。

講 義 13.00～14.30

(1) 着心地に関わる評価の概説, 布の力学特性・表面特性・熱水分移動特性の測定と風合いの客観評価
 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

実 習 14.30～16.30

(2) 1) 布の曲げ特性, せん断特性, 引張特性の測定
 2) 布の圧縮特性, 表面特性の測定
 3) 布の熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} , 熱コンダクタンス, 熱損失) の測定
 3 班に分かれ, ローテーションで実習を行います。
 カトーテック(株)ならびに井上真理

まとめ 16.30～17.30

(3) エクセルファイルを用いた風合い計算の解説 (必要な方は USB, ノートパソコンをご持参ください)
 および 質疑応答
 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

協 賛 大阪染色協会

定 員 15 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込ができます。

申込先 日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「アパレル製品設計の基本」

期 日 平成30年2月19日(月)

会 場 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00~10.30

(1) 概論 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上真理

10.30~11.20

(2) 人体と衣料サイズ 元(株)ダーバン 相馬成男

11.30~12.50

(3) アパレル製造工程 (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之

13.50~14.40

(4) 布の実用性能 (一財)カケンテストセンター 大阪事業所 森 秀樹

14.50~15.40

(5) 商品表示と品質保証(衣料品の事故事例)

..... (一財)ポークン品質評価機構 業務部 大阪業務課 研修センター長 平岩清隆

15.50~16.30

(6) リサイクル 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫

16.40~17.40

(7) 流行の周期 (株)感性リサーチ 研究員 手塚祐基

協 賛 大阪染色協会

定 員 30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会員15,000円, 非会員23,000円, 学生会員3,000円, 学生非会員5,000円(税別)

申 込 テキスタイルカレッジアパレル製品設計の基本と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平(椋山女学園大学)		
運営委員	伊藤 博(イトービーイーオフィス)	今田 邦彦(今田技術士事務所)	上坂 貴宏(京都市産業技術研究所)
	上野 清隆(日阪製作所)	榎本 雅穂(京都女子大学)	岡田 倫子(滋賀県東北部工業技術センター)
	奥林 里子(京都工芸繊維大学)	越智 清一(元繊維評価技術協議会)	改森 道信(改森技術士事務所)
	金崎 英夫(金崎技術士事務所)	桑原 里実(椋山女学園大学)	嶋田幸二郎(嶋田技術士事務所)
	解野 誠司(和歌山県工業技術センター)	長澤 則夫(元日本羊毛産業協会)	橋本 嘉顯(東洋紡カンキョーテクノ)
	廣垣 和正(福井大学)	松原 孝典(産業技術短期大学)	森本 國宏(森本技術士事務所)
	安永 秀計(京都工芸繊維大学)	吉川 雅敏(東洋紡)	

テキスタイルカレッジ

繊維製品の品質管理と品質保証

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地 の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について元繊維評価技術協議会の越智様から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、TMT ソリューションズ(株)、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 30 年 3 月 2 日(金) 10.00~18.25

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容

- (1) 生地 の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明 (10.00~11.10)
 (一財)ニッセンケン品質評価センター 大阪事業所 課長 中野 隆史
- (2) 機能性試験の内容と評価基準 (11.15~12.25)
 元 (一社)繊維評価技術協議会 日本繊維学会フェロー 越智 清一
- (3) 製品クレームの事象と対策例 (13.15~14.25)
 (一財)ボーケン品質評価機構 業務部 大阪業務課 研修センター長 平岩 清隆
- (4) 溶融紡糸長繊維生産品の品質欠点について (14.30~15.30)
 TMT ソリューションズ(株) 参与 中田 賢一
- (5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響 (15.35~16.35)
 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守
- (6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響 (16.40~17.30)
 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場 秀樹
- (7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響 (17.35~18.25)
 あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 山内 宏城

協 費 大阪染色協会

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

申 込 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

北陸支部 **日本繊維機械学会北陸支部 繊維学会北陸支部**
平成 29 年度研究発表会

日時 平成 29 年 11 月 30 日(木) 9.50~17.00

会場 福井市地域交流プラザ 6 F 607 (福井県福井市手寄 1 丁目 4-1 AOSSA 6F)

共催 日本繊維機械学会北陸支部, 繊維学会北陸支部

内容

9.50~ 9.55 開会挨拶

10.00~10.50 特別講演

「CFRP 構造の損傷・破壊挙動の実験的評価と仮想強度試験の試みについて」

..... 東京農工大学 小笠原俊夫

11.00~11.50 特別講演

「テキスタイル複合材料のマルチスケール解析技術および水素貯蔵タンクの設計・評価
 ~連携による研究開発・実用化の加速~」

..... 大阪大学 倉敷 哲生

休憩

13.00~14.40 研究発表 (第一部)

(1) 「形状記憶合金編地の挙動解析について」

..... 金沢大学 石川県工業試験場* ○樋口 雄亮, 中島 明哉*, 木水 貢*, 新谷 隆二*, 若子 倫菜
 喜成 年泰

(2) 「触覚センサの直線/回転なぞりによる布の摩擦特性」

..... 金沢大学 ○京田 拓巳, 米田 慎之介, 若子 倫菜, 立矢 宏, 喜成 年泰

(3) 「型を用いたカーボンナノチューブ紡績糸の結索について」

..... 金沢大学 ○永田 創平, 菊池 遵一, 喜成 年泰

(4) 「仮撚加工機におけるサージングの発生要因について」

..... 福井工業高等専門学校 ○林田 剛一, 金田 直人

(5) 「連続繊維強化熱可塑性 CFRP のプリプレグの層厚さと力学特性の関係」

..... 福井大学 ○豊田 桂司, 山根 正睦, 植松 英之, 田上 秀一

休憩

14.50~16.30 研究発表 (第二部)

(6) 「可視光応答型酸化チタン/酸化タングステン複合ナノ繊維の形成」

..... 福井大学 日華化学* 産総研** ○加藤 翔太, 中根 幸治, 番戸 博友*, 脇坂 昭弘**

(7) 「ナイロン 6 布帛の反応性染料による染色性にグラフト鎖の構造が及ぼす影響」

..... 福井大学 倉敷紡績(株)* ○加藤 弘樹, 田畑 功, 堀 照夫, 廣垣和正, 西川 高宏*, 杉山 稔*
 大島 邦裕*, 勝圓 進*

(8) 「パルプ繊維発泡体における水分含有率と発泡成形性の関係」

..... 福井大学 福井県工業技術センター* ○赤木 寛人, 笥 瑞恵*, 植松 英之, 田上 秀一

(9) 「せん断流れにおけるカーボンブラックの分散混合に関する基礎研究」

..... 福井大学 (株)神戸製鋼所* ○田中 亮起, 植松 英之, 山田 紗矢香*, 田上 秀一

(10) 「ナノファイバーを用いたハイブリッド基布の開発研究」

..... 富山県工業技術センター 第一編物(株)* ○成瀬 大輔, 金丸 亮二, 吉田 博之*

16.45~17.00 優秀発表受賞式と閉会挨拶

定員 100 名

参加費 無料 (予稿集冊子代 ¥500)

申込 11 月 24 日 (金) までに、会社名・氏名・連絡先 (メールアドレス・電話番号) をご記入の上、電子メール
 または Fax で下記お申し込み下さい。

申込先 福井大学 植松英之

E-mail: uematsu@matse.u-fukui.ac.jp, FAX.0776-27-8767, TEL.0776-27-9952

東海支部 第31回 東海支部若手繊維研究会

- 日時** 平成29年12月2日(土) 9.30~18.00 (予定)
- 会場** 椋山女学園大学 (愛知県名古屋千種区星が丘元町 17-3)
- 共催** 日本繊維機械学会東海支部, 繊維学会東海支部, 日本繊維製品消費科学会東海支部
- 内容** 学会HPを参照下さい。
- 参加申し込み**

日本繊維機械学会のwebページよりお申込みください。 <http://tmsj.or.jp/branch/tokai/>

- 参加費** 1,000円 (発表者, 学生は無料) 情報交換会費 3,000円 (学生は 1,000円)
- お問い合わせ** 三重大学教育学部 技術・ものづくり教育講座 中西康雅
E-mail : tokai@tmsj.or.jp

中国支部 平成29年度中国支部研究及び事例発表会

中国支部では日本繊維製品消費科学会中・四国支部と共催で、平成29年度研究及び事例発表会を開催します。多数の方々の発表をお待ちします。

- 日時** 平成29年12月8日(金) 13.30~
- 会場** 岡山県立図書館 2F サークル活動室 (岡山市丸の内 2-6-30)
<http://www.libnet.pref.okayama.jp/>
- 内容** 学会HPを参照下さい。

申込み・問い合わせ先

日本繊維機械学会中国支部事務担当, 倉敷市立短期大学服飾美術学科 道明伸幸
(〒711-0937 倉敷市児島稗田町 160)
TEL.086-473-1859, FAX.086-473-1857, E-mail:michiaki@m.kurashiki-cu.ac.jp

第46回 繊維工学研究討論会 (国際シンポジウム) THE 46th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM AT Mt.Fuji

- 期日** 平成30年9月3日(月)~5日(水)
- 会場** 帝人アカデミー富士 (静岡県裾野市下和田 656)

企画委員会

委員長	中西 康雅 (三重大学)		
副委員長	倉敷 哲生 (大阪大学)	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)	松崎 健 (ミズノ)
企画委員	青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)	伊藤 智樹 (ボーケン品質評価機構)	稲富伸一郎 (東洋紡)
	内丸もと子 (テキスタイルデザイナー)	岡田 英基 (東レ)	奥野 智朗 (住江織物)
	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)	佐藤 克成 (奈良女子大学)
	滋野 治雄 (帝人)	杉山 研志 (TMT マシナリー)	筒井久美子 (村田機械)
	中根 幸治 (福井大学)	西田 裕紀 (関西ファッション連合)	野田 博丈 (トヨタ紡織)
	馬場武一郎 (日本毛織)	原 茂 (豊田自動織機)	伴場 秀樹 (津田駒工業)
	廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)	深沢太香子 (京都教育大学)	堀場 洋輔 (信州大学)
	森島 英暢 (倉敷紡績)	山田 博夫 (ユニチカトレーディング)	山田由佳子 (大阪教育大学)
	山本 温子 (カトーテック)	吉岡 謙一 (クラレ)	若松 栄史 (大阪大学)
アドバイザー	宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))	木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)	武内 俊次 (福原産業貿易)
	中村 信 (ダイキン工業)	藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)
	六田 克俊 (高知県立紙産業技術センター)		

平成 30 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」公募

平成 30 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおむね 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を平成 30 年 1 月 15 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付下さい。

提出書類 次の書類を 2 部(正 1 部、副 1 部、副は複写も可)提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙(所定の書式の用紙、学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい)
- (2) 応募業績に関する参考資料(参考資料例: 特許、図面、新聞記事、納入実績リスト、カタログ、技術資料など)

選考方法 (1) 一次選考(書類審査)により選抜された業績について、二次選考(現地調査)を行います。

- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

その他 応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

応募締切 平成 30 年 1 月 15 日(月) 17 時必着

申込先ならびに問い合わせ先 日本繊維機械学会 技術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

参考資料 過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・平成 27 年度受賞技術

「高耐摩耗多重構造織物設計」

..... 東レ(株) 主森 敬一, ニノ宮有希, 土倉 弘至

「機台間通信機能を備えた紡績工程管理システム」

..... 村田機械(株) 林 茂, 野間 英治, 西山 能弘

「生体を模擬した中わた素材の開発」

..... 倉敷紡績(株) 小沢 一郎, 大西 浩一

..... タイ・クラブウ(株) 山内 一平

..... イシケン(株) 石川 和延

・平成 28 年度受賞技術

「高性能 CFRP ソールの成形技術」

..... (株)アシックス 谷口 憲彦

..... 川重岐阜エンジニアリング(株) 日比野 茂

..... (株)アシックス 松尾 弘毅, 西脇 剛史

「競泳水着における機能性設計開発」

..... (株)ミズノ 田中 啓之, 島名 孝次

・平成 29 年度受賞技術

「柔らかか面ファスナーの開発」

..... 帝人(株) 田中 昭

..... 帝人フロンティア(株) 竹下 皇二

..... 帝人(株) 田中 謙吾

「次世代コンパクト POY 巻取設備の開発」

..... TMT マシナリー(株) 杉山 研志, 北山 太, 橋本 欣三

創立 70 周年記念 若手研究者・技術者育成事業 日本繊維機械学会「学術研究奨励賞」募集要項

1. 趣旨

本学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的としたものです。

2. 応募資格

2017 年 12 月 31 日において 45 歳以下の研究者・技術者

3. 研究テーマ

繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究

4. 応募の方法

所定の研究計画書ファイルを学会 HP からダウンロードして作成し、日本繊維機械学会事務局宛に提出してください。

5. 応募の締め切り

2018 年 2 月 5 日(月) 必着

6. 選考結果の発表

2018 年 5 月中旬までに、申請書を元に審査のうえ贈賞者を決定し、本人に書状にて通知します。

7. 表彰

2018 年 6 月 2 日(土)【年次大会 2 日目】に、学会賞授与式を開催します。
賞状ならびに副賞（奨学寄付金：1 件につき最大 50 万円）を授与します。

8. 研究成果の報告

所定期間内（原則三年以内）に報告書を提出し、日本繊維機械学会（以下本学会）年次大会で成果を発表すること。さらに、研究終了後所定の期間内（原則一年以内）に成果をまとめ、本学会の学術論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) に投稿すること。

なお、会社に帰属する研究成果の公表の可否と範囲については、受賞決定後に選考委員会と協議する。

9. 留意事項

- 1) 受賞時には本学会の会員であること。
- 2) 応募に際して本学会員の推薦を必要とする。
- 3) 企業の研究者が応募する場合は、あらかじめ所属する部局長の承諾を得ること。

第71回年次大会研究発表募集

一般社団法人日本繊維機械学会は昭和23年に創立以来、「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り、かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました。

お蔭さまで、年次大会も第71回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に会して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います。また、35歳以下の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのおみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

期 日 平成30年6月1日(金)、2日(土)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、北へ徒歩3分）

発表募集内容

[] 内はオーガナイザー

1. 研究発表セッション

(a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

〔金井博幸（信州大学）、朱春紅（信州大学）、末弘由佳理（武庫川女子大学）、辻 創（カケンテストセンター）、松岡敏生（三重県工業研究所）〕

キーワード：繊維工学（繊維製品に関わる技術、性能試験）、ウェアの高機能化（安全、安心、健康）、繊維製品と感覚計測（風合い、快適性、感性評価）

(b) 繊維機械の科学と工学

〔喜成年泰（金沢大学）、太田成利（村田機械）、橋本欣三（TMT マシナリー）、保田和則（愛媛大学）、山田茂生（津田駒工業）〕

キーワード：繊維機械の基礎研究、流れの科学、繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術、紡績技術、化合繊維機械、織機、編機、準備機械、織編組技術、各種繊維関連機器

(c) ナノファイバー

〔山下義裕（大阪成蹊短期大学）、小野努（岡山大学）、金翼水（信州大学）、中根幸治（福井大学）、向井康人（名古屋大学）〕

キーワード：フィルター、ナノテクノロジー、エレクトロスピニング、メルトブローン、生体材料

(d) スマートテキスタイル

〔堀 照夫（福井大学）、藤田浩行（兵庫県立工業技術センター）〕

キーワード：導伝繊維、スマート材料、環境、実装、情報

(e) 環境対応技術

〔小田 涼太（三晶）、内丸もと子（M.U.PLANING）、豊田 宏（太陽工業）〕

キーワード：リデュース、リユース、リサイクル、省エネ、エコロジー、LCA、生分解性、未利用資源、バイオマス、環境負荷低減、節電、軽量

(f) 繊維強化複合材料

〔中西康雅（三重大学）、植松英之（福井大学）、倉敷哲生（大阪大学）、仲井朝美（岐阜大学）、西脇剛史（アシックス）〕

キーワード：FRP、熱可塑性樹脂複合材料、金属基複合材料、セラミックス基複合材料、ナノコンポジット、有機・無機繊維、強化形態、マトリックス材、複合効果、傾斜機能

(g) 伝統的繊維製品および匠の技

〔岡本陽子（神戸女子大学）、高井由佳（大阪産業大学）〕

キーワード：伝統産業、天然繊維、染織文化財、きもの、組紐、編物、伝統技法、織技法、染技法、衣文化、民族衣装、保存、修理・修復、復元、文様、色彩、デザイン、データベース、文化財

(h) 被服心理・ファッション

〔徳山孝子（神戸松蔭女子学院大学）〕

キーワード：アパレル，色彩，デザイン，消費者，ビジネス，ジェンダー，顧客満足，ブランド，流行，購買行動，ユニバーサルファッション

(i) 染色・機能加工

〔奥林里子（京都工芸繊維大学），上坂貴宏（京都市産業技術研究所），榎本雅穂（京都女子大学），岡田倫子（滋賀県東北部工業技術センター），松原孝典（産業技術短期大学），安永秀計（京都工芸繊維大学）〕

キーワード：染料／顔料／色素，染色・加工処理剤，新規材料合成，染色・機能加工，デジタル染色，超臨界染色加工，エコ染色加工，ドライプロセス（電子線／紫外線／プラズマ），堅ろう度向上，廃液処理，環境／持続社会，バイオベースマテリアル，食品・農芸分野，ヒューマンオリエンテッド

(j) バーチャルテキスタイル

〔横山敦士（京都工芸繊維大学），若松栄史（大阪大学）〕

キーワード：繊維製品，バーチャル技術，数値解析，CAE，CAD

(k) 産業用繊維資材および不織布

〔田上秀一（福井大学），増田敦士（福井県工業技術センター）〕

キーワード：産業用繊維資材（テクニカルテキスタイル），医療・衛生用，工業用，土木・建築用，自動車用，生活資材用，インテリア用，寝装用，皮革用，二次電池用などの不織布

2. 製品紹介セッション

〔武内俊次（福原産業貿易），井上真理（神戸大学），河原喜久（帝人フロンティア），迫部唯行（ユニチカ），筒井久美子（村田機械），須山浩史（東レ），馬場武一郎（日本毛織）〕

繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。

その内容にPR色があっても差し支えありません。この点が，このセッションの大きな特徴です。

広い範囲から製品，技術の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方に，同じ発表内容を応募することができます（ダブルエントリーでも料金は発表1件分です）。このセッションは1日目【平成30年6月1日（金）】に開催します。

3. ポスターセッション

〔山本貴則（大阪産業技術研究所），小田涼太（三晶），廣垣和正（福井大学）〕

ポスターセッションは，発表者と意見交換できる場です。

このセッションには，(1) 学術研究発表コーナー，(2) 製品紹介コーナー（製品展示・実演も可能）があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。このセッションは1日目【平成30年6月1日（金）】に開催します。

学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション，ポスターセッションは該当しません），平成30年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って，優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により，提出された原稿に基づく第一審査，第一審査を通過された場合，当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし，ポスターセッション（審査対象外）へのダブルエントリーは可能です。

ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません），平成30年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って，優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日【6月1日（金）昼休み】に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーも可能です。ただし，学術奨励賞とのダブルエントリーはできません。

発表申込方法

以下サイトより WEB 申込みをしてください。

URL : https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry_annual.php

発表申込・要旨原稿提出締切

発表申込締切：平成 30 年 2 月 23 日（金）17 時必着

原稿提出締切：平成 30 年 4 月 9 日（月）17 時必着

その他

- (1) 講演 1 件につき、講演時間 20 分（質疑応答 4 分、交代 1 分を含む）を予定しています。
- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み（ダブルエントリー）の場合は、重複申し込みしている旨をご記載下さい。
- (3) ポスターボードの大きさ
 - ① 学術研究発表コーナー：たて 1170 mm、よこ 870 mm.
 - ② 製品紹介コーナー：たて 841 mm、よこ 594 mm.
- (4) 発表者は自動的に参加登録されます。あらかじめご了承ください。
- (5) 原稿は、学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き、書式にしたがって A4 判 2 枚以内にまとめて下さい。書式から大きくはずれた原稿は受付できません。学術奨励賞にエントリーされた発表は A4 判 2 枚で作成して下さい。
- (6) 参加登録費：会員・発表者 8,000 円、非会員 13,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円
（事前登録日以降の登録（当日を含む）は各々 2,000 円追加）

問合せ先

日本繊維機械学会 第 71 回年次大会実行委員会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

平成 30 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

平成 30 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE（Journal of Textile Engineering、本学会論文集）に掲載された Original Paper が「5 編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年の 12 月 31 日で、40 歳以下の者とします。応募される方は、下記の書類を添えて、平成 30 年 2 月 5 日（月）必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部（様式は自由）

提出書類

- (1) 氏名ならびに生年月日
- (2) JTE に掲載された論文一覧（著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁）
- (3) 推薦書（自薦、他薦にかかわらず 400 字以内）

申込先

日本繊維機械学会 学術賞選考委員会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL : 06-6443-4691, FAX : 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

お知らせ **日本学術振興会 繊維・高分子機能加工**
第120委員会 第128回講演会

日時 平成29年12月1日(金) 10.00~17.05
会場 浜松市地域情報センター (浜松市中区中央1-12-7)
内容

- 10.00~10.05 開会挨拶
 10.05~11.05 高密度織物への挑戦—Furuhashi ブランド
 古橋織布(有)社長 古橋 敏明
 11.15~12.15 超極細 120 番手でシルクのなめらかさ、綿生地でミラノウニカに挑戦し続ける
 (有)福田織物 社長 福田 靖
 13.40~14.40 高外観樹脂材料の開発と無塗装剤着部品への適用 (平成29年度市村産業賞受賞技術)
 スズキ(株)環境・材料・生産技術開発部 深見優之助
 14.50~15.50 自動車におけるセルロースナノファイバーのシーザー炭素繊維から眺めるとみえてくるもの—
 (元トヨタ自動車) 金沢工業大学・大学院工学研究科・高信頼ものづくり専攻 教授 影山 裕史
 16.00~17.00 樹脂—金属異種材料接合・接着技術と接合メカニズム
 ポリプラスチック(株)執行役員 研究開発本部長 松島 三典
 17.00~17.05 閉会挨拶
 17.30~19.30 懇親会 (イタリアンレストラン「オスピターレ」)

主催 独立法人日本学術振興会繊維・高分子機能加工第120委員会
共催 静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター, 東海機能性材料研究会
後援 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構, 公益財団法人浜松科学技術研究振興会
参加要領 氏名, 連絡先 (企業名, 住所, Tel, Fax, E-mail アドレス等) を明記して, 下記の申込先にご連絡ください。

申込先 (独) 日本学術振興会繊維・高分子機能加工第120委員会
 信州大学 繊維学部 先進繊維・感性工学科 金井博幸<当日受付参加可能>
 E-mail: kanai@shinshu-u.ac.jp, Tel: 0268-21-5614

参加費 講演会の参加費は無料ですが, 資料代 (要旨集) 一般: ¥3,000, 学生: ¥1,000 をお願いします。
 懇親会の参加費は, ¥5,000 です。懇親会参加費, 資料代はいずれも当日, 受付でお願いします。

その他 申し込みの際にお知らせいただいた氏名等の個人情報について, 開催団体 (後援含む) 以外の第三者に情報を提供することはありません。開催団体から行事等の各種案内を送らせていただくことがあります。

【繊維産業活性化委員会 (繊維・未来塾)】	
塾長	松田 正夫 (元大阪繊維リソースセンター社長)
副塾長	近藤 健一 (大正紡績(株) 繊維事業本部長 兼 東京営業所長) 松尾 憲久 (マツオインターナショナル(株) 代表取締役社長)
	八代 芳明 (東海染工(株) 取締役会長) 山下 雅生 (株)エイガールズ 取締役会長)
幹事	松下 義弘 (京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授)
運営委員	糸井 弘一 (関西ファッション連合 戦略室 特命担当) 宇治 光洋 (ダイセン(株) (繊維ニュース) 編集グループ記者)
	白谷旗世彦 (大津毛織(株) 代表取締役) 貝原 良治 (カイハラ(株) 代表取締役会長)
	北丸 豊 (豊栄繊維(株) 代表取締役社長) 桑名 紀夫 (日本パーソナルカラー協会 顧問)
	高澤 史納 (高澤織物(株) テキスタイルデザイナー) 高杉 哲朗 (株)ショーワ 代表取締役社長)
	辰巳 雅美 (辰巳織布(株) 代表取締役社長) 山本 敏明 (西染工(株) 代表取締役)
	米倉 勝久 ((株)タカラ 代表取締役会長) 渡邊 利雄 (渡辺パイル織物(株) 代表取締役社長)

協賛 ▶ 平成 29 年度東海シンポジウム 機能性ナノ構造体の構築とその利用～新規産業創出を目指して～

期 日 平成 30 年 1 月 11 日(木), 12 日(金)

会 場 名古屋国際会議場 222・223 号室 (名古屋市熱田区熱田西町 1-1)

内 容 詳細は化学関連学協会合同事務局の HP (<http://www.c-goudou.org/>) をご参照下さい。

主 催 高分子学会東海支部

参加費 (含予稿集代) ①企業 10,000 円, ②大学・官公庁 5,000 円, ③学生 無料

お知らせ FMC12月度セミナー

FMC (ファッション素材センター) の 12 月度セミナーは, 下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ (http://www.geocities.jp/fmc_webpage/) をご参照下さい。

期 日 平成 29 年 12 月 1 日(金) 18.15~20.00

会 場 大阪産業創造館 6F 研修室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)

内 容 プリーフリー「響き合う二極化」を求めて

激しく変わる販売方法に伴って, もの作りも大きな変化を余儀なくされている。簡略化される中で失われる手間ひま, 職人の技や感性をどのように守り維持していくか, ダイバーシティといわれる多様化や代替えがどこまで可能なのか, 欧州や国内の素材展と市場を観察し, ファッションビジネスの変化の中で 2019 年に向けて素材の対応はいかにあるべきかを探りたい。

講 師 (株)ミックプランニング代表, ファッションマーケティング&テキスタイルディレクター 北川美智子

参加費 ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 11 回のセミナー (10 月は見学会) に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になります。]

申 込 「FMC12 月度セミナー」と明記し, ①氏名, ②住所, ③電話または FAX 番号をご記入の上, 11 月 24 日(金) までに E-mail にてお申し込み下さい。

申込先 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC 事務局
E-mail : fmc.office.mail@gmail.com

お知らせ 第62回公開講演会

期 日 平成 29 年 12 月 22 日(金) 13.30~16.30

会 場 大阪産業創造館 5F 研修室 E (大阪市中央区本町 1-4-5)

内 容

(1) 日本型アパレル産業のゆくえーラグジュアリーとファストファッションとのはざままでー

..... JTCC 会員 中野 廣

(2) 繊維新素材・新商品の最新情報ー JTCC 情報交換会の話題 よりー

..... JTCC 会員 松本三男

申込・問合せ先 一般社団法人日本繊維技術士センター (JTCC)

TEL : 06-6484-6506, FAX : 06-6484-6575, E-mail : jtcc@nifty.com

その他 詳細は日本繊維技術士センターの HP (<http://www.jtcc.or.jp/>) をご参照下さい。